



励徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



そろそろ冬支度

第 27 号

R5.11.10発行

文責 永田 功臣

2学期も半分が過ぎました

8日（水）は立冬でしたが、少しずつ寒さが増してきたように感じます。いろいろな行事が予定されており慌ただしい毎日ですが、2学期も半分が過ぎてしまいました。今週の全校集会では、「励徳プライド」が表現できているかについて子どもたちに採点してもらいました。6年生に聞いてみると「6年生では10点満点中8点、全体では5点」と少し辛めの評価となりましたが、着実によくなっていると感じます。特に、あいさつや発表の声が大きくなっており、少しずつ自信をつけてきているように思います。これが一部の狭いところだけにとどまらず、外に出ても表現できるように力をつけていってほしいと思います。

もう一つ、励徳小では学習の目標設定や児童会のスローガン達成のために「山登り」をイメージしてそれぞれの地点の目標を決めています。先日の野口健さんの山登りの「途中は登ったり下りたりしながら酸素の濃度に体を慣らしていく」という話を引用して、目標達成をイメージさせました。できなかったら、もう一度以前を振り返ることも大切だということです。いろいろなところでゴールを目指し、山登りと同じように達成感を味わってほしいと思います。

恒例ウォークラリー

～今年は

洞岳地区～

2日（木）に、歩きながら「ふるさと」を実感する恒例のウォークラリーを実施しました。子どもたちと一緒に歩きながら、景色や風、においを感じました。井澤さんをはじめ、フットパス協会の方々には大変お世話になりました。歩くことも大切ですが、その合間に説明される内容にいつも「学び」があります。子どもたちの中にその内容が少しでも残っていることを願います。（詳しくは励徳通信で）



☆はうかう☆

～キラリと光るために～

朝からのあいさつは、一日のスタートにおいて、自分や周囲の人を元気にする効果があります。オンとオフを切り替え学校での学びをたくさん得るためにも、朝からの元気なあいさつを心がけてほしいと思います。

私もたくさん元気をもらっています。いっしょにあいさつを頑張りましょう。

「あいさつ名人」
二年 松本 城都
朝から元気よく
あいさつのき合いをいれる
朝学校に来た時
さかの前にいる校長先生に
元気よく大きな声であいさつ
地いきの人にも
元気よくあいさつをする



もっとサイエンス



全校集会で「ぎんなんがくさいのはなぜ？」という話をしました。そこで、ちょっとだけイチヨウについて紹介しておきます。イチヨウは、以前紹介した玄関のソテツと同じ「裸子植物」のなかまです。「子どもが裸」つまり種子になる部分が包まれていない植物です。種子を包む部分は実になるので、落ちているぎんなんは、全部種子の部分ということになります。

それでは、くさいと感じる理由は何でしょう。それは、種子の外側の柔らかい部分にふくまれている成分が、人の足の悪臭や排泄物にふくまれる成分と同じであることから、不快に感じる人が多いということです。なぜそんなにおいを発するのかなど、くわしいことは、ぜひ自分で調べてみてください。

お願い

先日お知らせした町こども食堂からの「リユースのお願い」ですが、職員室前に設置したケースにはほとんど何も入っていません。お家に眠っている、学用品、体育服、制服等はありませんか。消毒、修理等をして無料配布されますので、もしありましたら、提供をお願いします。

